

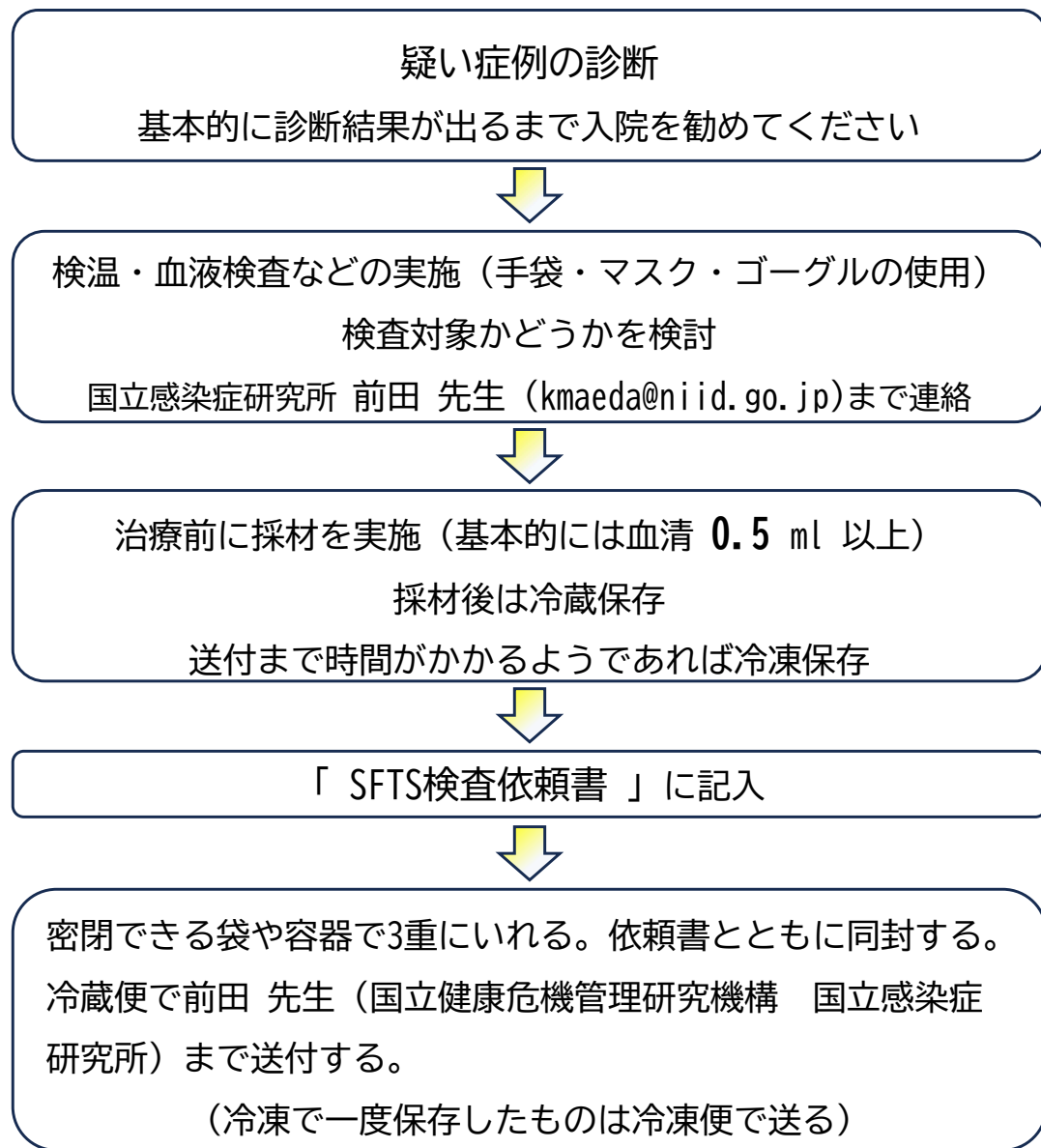
SFTSに関する 検査依頼について

国立感染症研究所 前田 健 先生

2019年10月 獣医学術東北地区学会 協賛セミナー「SFTSの最新の情報」

獣医療関係者のSFTS発症動物対策（2025年バージョン）から引用

SFTS検査依頼の仕方のフローチャート



検査推奨項目と症例の傾向

発熱	白血球減少	血小板減少
肝酵素上昇	重症	
CK上昇	T-Bil上昇	黄疸
嘔吐	消化器症状	

診断・採材時には手袋・マスク・ゴーグル着用
検体の取扱い・汚染に注意

汚染した可能性がある場合

↓
0.5%次亜塩素酸ナトリウムで消毒

動物にかまれた場合

体液・排泄物に汚染された鋭利器材で受傷した場合
体液・排泄物によって粘膜や皮膚が汚染された場合

↓
至急、医師に相談

感染したか不安な場合

↓
体温を10日間測定、発熱があれば医師に相談

飼い主さまへの指導

↓
体温を10日間程度測定して、発熱があれば、至急、病院に行くようにお伝えする